

第6回 常願寺川・神通川・庄川及び小矢部川
流域治水プロジェクト協議会
議事概要(案)

開催日時：令和7年3月11日(火) 10:30~12:00

場所：富山河川国道事務所 3階 大会議室(テレビ会議併用)

議事：1. 開会挨拶

2. 規約の改正について【資料1】

3. 流域治水プロジェクトについて【資料2】

・流域治水プロジェクトの更新

・流域治水プロジェクトに基づく対策の実施状況

4. 流域治水の自分事化に向けた取組について【資料3】

5. その他(情報提供)【参考資料】

6. 閉会

議事概要：

<規約の改正について>

➤ 事務局より、オブザーバーである富山県防災・危機管理課における部署名の修正について説明が行われた。

(変更前) 富山県 総合政策局 防災・危機管理課

→ (変更後) 富山県 危機管理局 防災・危機管理課

➤ 提示した改正案について了承され、本日付で規約が改正された。[意見・質問無し]

<流域治水プロジェクトについて>

➤ 事務局より、流域治水プロジェクトおよび流域治水プロジェクト一覧表(令和7年3月現在)について説明が行われた。

➤ 内容について了承された。[意見・質問無し]

➤ 事務局より、各機関の取組事例(令和7年3月現在)について説明が行われた。

➤ 内容について了承された。[質問無し]

➤ [質問] 事務局(富山河川国道事務所)：各市で実施された取組について、良かった点や苦労した点などを共有していただきたい。

→高岡市：高岡市では、令和5年度の線状降水帯による市内の氾濫を受け、排水ポンプユニットと排水ポンプ車を合計3台導入した。運用面では、建設業協会と連携し、365日対応可能な体制を構築している。また、緊急時の対応に備え、市職員に対して玉掛けや移動式クレーン等の資格取得を推進している。さらに、出水期前には建設業協会と合同で定期的な訓練を実施し、実践的な対応力の向上に努めている。

→富山市：富山市は、坪野川流域において田んぼダム事業を展開している。この取り組みは旧町時代から段階的に進められ、市町村合併後に本格的な実装が実現した。事業推進にあたっては、農業者団体との緊密な連携・調整を重視しており、堰の設置方法等について慎重な協議を重ねてきた。現在は協力金制度を導入し参加促進を図っているが、さらなる農業者の参加拡大が今後の課題となっている。

→射水市：射水市においては、令和5年の線状降水帯による洪水時における和田川での水門操作の課題を受け、ワンコイン浸水センサを導入した。

- 事務局より、ワンコイン浸水センサ実証実験及び新規参加者募集について説明が行われた。（参考資料1）

<流域治水の自分事化に向けた取組について>

- 事務局より、流域治水の自分事化に向けた取組に関する各水系の令和6年度のフォローアップ、令和7年度取組計画（案）及びロードマップ（案）について説明が行われた。
- 公表用の資料とは分けて、各自治体から今年度提出いただいた取組実績の資料を、参考として各機関へ情報共有を行う予定である旨の説明が行われた。
- 内容について了承された。[質問無し]

<その他（情報提供）>

- 事務局より、「流域治水優良事例集」に関する説明が行われた。
- 事務局より、「『流域治水とやま』ロゴマーク」に関する説明が行われた。
- 事務局より、「常願寺川・神通川・庄川・小矢部川流域において出水をもたらす気象特性～各流域における注意すべき気象条件～」に関する説明が行われた。
- 富山県河川課より、「とやま河川メール リーフレット」に関する説明が行われた。
- 事務局より、「新しい地方経済・生活環境創生交付金」に関する説明が行われた。
- 内容について了承された。[質問無し]

— 以上 —